

整理番号
136

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	スポーツ振興事業				担当課	生涯学習課								
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	スポーツ推進係							
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション				計画期間	令和５年度　～　令和７年度							
主な取組	1	スポーツの振興に関する指針の策定				事業区分	一部委託							
予算科目	会計	款	項	目	大事業									
	1	10	6	1	スポーツ振興事業（スポーツ・レクリエーション）									
目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。													
事業概要【PLAN】	市民が一人スポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、各種体育大会の支援をはじめスポーツ推進団体に対する補助等を行います。													
対象【PLAN】	①市民 ②総合計画				意図【PLAN】	①市民が日常的にスポーツに親しみ健康で文化的な生活を送っている。 ②将来都市像の実現に向けたまちづくりが推進されている。								
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	スポーツ推進計画策定に向けて、アンケート調査や学校施設の調査等を実施し、データ収集を行った。													
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度					
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)					
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0								
	都道府県支出金	千円			0	0								
	地方債	千円			0	0								
	その他	千円			0	0								
	一般財源	千円			484	500								
	事業費合計	千円			484	500								
(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】														
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度					
スポーツ計画（仮称）策定数		計画数	実績値が目標値以上となること	目標値	－	－	1	－	1					
				実績値	－									
				達成率	－									
(２)チェック項目による評価【CHECK】														
	評価視点				評価の結果									
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				総合計画に掲げる事業であり、伊達市の将来像を明確にするための指針として必要である。									
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市民が健康で文化的な生活ができ、ひいては健康寿命の延伸につながるため、健康寿命や医療費削減の一助となり有効と考えている。									
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				・アンケートをまちづくりアンケートに同封することで経費の削減をすることができた。 ・書面回答の他にオンライン回答を導入することで、分析にかかる作業時間の削減や回収率の上昇に努めた。									
(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】														
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			・予算がない中で総合政策課と連携をとりながら、アンケートを実施できた。 ・２人係で対外的な仕事が多い中、ゼロベースからの計画策定は難しく、別な事業に影響がでる。									

整理番号
137

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	スポーツ関連施設維持管理事業					担当課	生涯学習課	
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち					担当係	スポーツ推進係
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション					計画期間	令和5年度　～　令和7年度
主な取組	2	スポーツ施設の整備充実					事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	6	2	スポーツ関連施設維持管理事業（スポーツ・レクリエーション）			

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。		
事業概要【PLAN】	社会体育施設がスポーツ・レクリエーションの場として、安全・安心に行えるよう施設環境の維持に努めるため適切な管理を行います。		
対象【PLAN】	①市民 ②施設	意図【PLAN】	①市民が安全・安心にスポーツに親しめる。 ②老朽化が進む中でも適正な維持管理を行い市民が不自由なく使用している。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市スポーツ振興公社と連携し、修繕が必要な個所を一覧にまとめ優先順位を決めて実施する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		8,584	12,484	45,493			
	事業費合計	千円		8,584	12,484	45,493			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
計画修繕施設	箇所	実績値が目標値以上となること	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	15				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	スポーツ施設は利用者が多く、地域住民の集いの場となっているため社会的需要は高いと考える。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	スポーツ施設が破損した場合、即座に利用者に影響を及ぼすこと、災害時には避難所になることを考えると適切に維持管理していくことは有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・現地に行き、スポーツ振興公社職員や事業者の話を聞き、常に経費削減できないか模索して修繕にあたった。 ・自前でできることは自ら修繕にあたった。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・現地に赴き、現場確認をしたりスポーツ振興公社職員や事業者の話を聞きくことで、参考見積より低い価格で発注できたり、自前で修繕することができたため経費削減することができた。 ・老朽化が進む一方で市民の利用度が高い。予算の範囲内で利用者が納得できる維持管理が課題である。

整理番号 138					部 長 課 長 係 長 担当者				
事務事業評価表 令和5年度実施事業									
事業名		スポーツ施設指定管理事業			担当課		生涯学習課		
基本目標		3 未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係		スポーツ推進係		
施策項目		4 スポーツ・レクリエーション			計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度		
主な取組		2 スポーツ施設の整備充実			事業区分		指定管理		
予算科目		会計	款	項	目	大事業			
		1	10	6	1	スポーツ施設指定管理事業			
目的と方針【PLAN】		市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。							
事業概要【PLAN】		市内にある社会体育施設の管理運営を民間に指定管理し、施設の効率的な管理運営を行います。							
対象【PLAN】		①指定管理者 ②市民			意図【PLAN】		①民間のノウハウやアイデアを活かすことで市民サービスや費用対効果を向上させる ②市民がストレスなく施設を利用できる		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		従来の請負的体質が強く、単に施設管理に留まらないよう、民間の創意工夫による公共サービスが必要であるため、定例会や協議書により促していく。 場合によっては、公募により指定管理者を募り、より民間の活力を活かせるアイデアを持つ事業者を発掘していく。							
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		154,150	175,263	175,263			
事業費合計		千円		0	0	0			
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
管理施設数		施設	実績値が目標値以下となること	目標値	17	17	17	17	17
				実績値	17				
				達成率	100.0%				
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
評価視点					評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				社会体育施設の利用者は多いことから優先度は高い。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				・市長の手紙やお問い合わせメールでの苦情が散見されることから、さらなる職員研修や人材登用の見直しが必要である。 ・伊達市の代表選手の応援やスポーツ団体への援助等社会体育関係における貢献度は高い。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				・指定管理している分、施設に対する時間は削減されている。 ・修繕関係では、指定管理者の見積もりを安易に信用せず、現場に赴き経費削減ができた。一方で指定管理者が修繕の優先順位をつけることができず、協定に定められた金額を超えた修繕を市に丸投げする状態が続いているため効率が悪い。				
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		電気料金をはじめとした物価上昇により、指定管理料が上昇している中で、本来の指定管理のメリットである「民間のノウハウやアイデアを活かす」ことがさらに求められる。					

整理番号						部 長	課 長	係 長	担当者
139		事務事業評価表 令和5年度実施事業							

事業名	スポーツ団体等活動支援事業				担当課	生涯学習課				
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	スポーツ推進係			
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	3	スポーツ団体の活動支援				事業区分	補助			
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業					
	1	10	6	1	スポーツ団体等活動支援事業					
目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。									
事業概要【PLAN】	スポーツ・レクリエーション活動に取り組んでいる市民を増やすため、スポーツ等の団体に対して事業補助を行います。									
対象【PLAN】	①市民				意図【PLAN】	積極的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組んでいる市民が増えている。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	人口減少や生活の多様化等により縮小傾向にある、スポーツ団体への補助や積極的に活動している団体への支援、大会誘致のための支援を行う。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	0				
	一般財源	千円		8,560	7,668	7,315				
	事業費合計	千円		8,560	7,668	7,315				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
支援団体数	団 体	実績値が目標値以上となること	目標値	10	10	10	10	10		
			実績値	9						
			達成率	90.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				・スポーツ少年団、スポーツ協会は地域の活性化において重要な役割を担っていることから必要と考える。 ・各種大会についても観光客等の関係人口が増え、地域活性化が図られることから必要である。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				イベント開催、スポーツ少年団への支援等により、スポーツを始めるきっかけづくり、こどもの健全育成に効果をもたらしている。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				特になし					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		財政難の中で、既存の団体への支援が年々減額している。また、新規の大会誘致やイベントに対する支援ができない。推進といいながら、市民は後退していると思うギャップをどうしていくかが課題である。						

整理番号
141

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	スポーツ推進委員指導事業				担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	スポーツ推進係
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	スポーツ指導者の育成・確保			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	1	スポーツ推進員指導事業	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。		
事業概要【PLAN】	スポーツ基本法に基づき、各地域において一定のスポーツの知識を有するものに対して伊達市スポーツ推進委員として委嘱し、全地域においてスポーツの振興を図ります。		
対象【PLAN】	スポーツ推進員	意図【PLAN】	地域のスポーツリーダーとして企画運営を行い、多様なスポーツ活動の普及促進をしている
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	スポーツ推進員への研修を実施し、意識醸成することで指導者の育成を図り、その知識を地域のスポーツ活動に還元していく。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		1,824	910	998			
	事業費合計	千円		1,824	910	998			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
スポーツ推進員主催イベント開催数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	－	－	1	1	2
			実績値	－				
			達成率	－				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	スポーツイベントの支援等を行っている。 スポーツ協会と平行線のように活動しているため必要性を認識しづらい。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	スポーツイベントの支援等を行っている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・現在、スポーツ推進委員は57名に委嘱している。この人数が適正かどうか県内13市にアンケートを実施した結果、他市に比べ多いことが分かった。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・意識改革の一環として、スポーツ推進員を主体に伊達地方スポーツ推進員向けの研修会を実施した。また、スポーツ推進員への意識調査アンケートを実施した。 ・委員の数、高齢化が課題であるが、委嘱期間が２年のため、Ｒ７年度から段階的に適正規模にしていけるよう、慎重に対応していく。

整理番号
142

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	スポーツ振興事業（再掲）				担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	スポーツ推進係
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	5	多様なスポーツ活動の普及促進			事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	1	スポーツ振興事業	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。		
事業概要【PLAN】	市民が一人一スポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、各種体育大会の支援をはじめスポーツ推進団体に対する補助等を行います。		
対象【PLAN】	①市民 ②総合計画	意図【PLAN】	①市民が日常的にスポーツに親しみ健康で文化的な生活を送っている。 ②将来都市像の実現に向けたまちづくりが推進されている。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	スポーツ推進計画策定に向けて、アンケート調査や学校施設の調査等を実施し、データ収集を行った。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		25,022	20,963	23,186			
	事業費合計	千円		25,022	20,963	23,186			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総合型スポーツクラブ会員数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	100	120	200	250	300
			実績値	173				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】								
	評価視点			評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか			・ 小学生低学年までの子供やスポーツ少年団に加入する前の子供たちにとって、スポーツをするきっかけづくりになるためニーズは高い。 ・ 部活動地域移行の受皿として必要性が高い。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか			・ 入会している家庭のアンケート結果によると、満足度は高い。 ・ 子供の健康保持・増進や青少年の健全育成に寄与している。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか			・ 需要が少ない教室については、希望者に連絡して閉鎖した。 ・ 新規加入者向けのイベントや随時体験、見学を認めることで加入者を増を目指した。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】								
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・ ジュニア世代を主な対象としていたが、今後、高齢者や働き世代と段階的に範囲を広めて事業を拡大していく。 ・ また、令和7年度からは委託事業から補助事業に変更することで、民間の活力を活かした事業の拡大を狙う。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	スポーツ全国大会等参加奨励事業					担当課	生涯学習課				
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち					担当係	スポーツ推進係			
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	5	多様なスポーツ活動の普及促進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	10	6	1	スポーツ全国大会等参加奨励事業						

目的と方針 【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。
-----------------	--

事業概要 【PLAN】	スポーツの全国大会等出場者に対して激励金を交付し、スポーツ振興及び技術の向上を推進します。
----------------	---

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民にスポーツを普及し、技術が向上している。
--------------	----	--------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	激励金を口座振り込みにすることで、市民の手続き軽減を図った。
----------------------	---------------------------------------

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	1,109	1,509	1,508			
	事業費合計	千円	1,109	1,509	1,508			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
交付件数	件	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	40	40	45	45	48
			実績値	57				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	・ 全国大会への激励金は市民にとって励みとなり、ほぼすべての市町村で実施しているので必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	・ 市内高等学校に対する激励金については、団体で行動するため費用不足が懸念されることから社会貢献に繋がっている。 ・ 全国大会出場者も同様に交通費等の負担軽減になっていることから満足度は高い。一方で中学生の東北大会は3,000円の交付で事務手続きに対して金額が少ない等の意見があった。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ 激励金を口座振替にすることで、時間を削減することができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	全国大会出場者や市内高等学校が全国大会に出場する種目が増えているため、予算の拡充が必要である。
------------	----	-------------------------	---